

## 表彰

林業の振興や緑化の推進など、様々な功労のあった方々に対する表彰が行われました。



平成20年度 全国緑の少年団活動発表大会入賞団体  
江田 五月 大会会長より、  
鹿児島県福平緑の少年団に代表授与



平成20年度 全国育樹活動コンクール入賞者  
石破 茂 農林水産大臣より、  
愛媛県久万高原町の岡 信一さんに代表授与



平成20年度「ふれあいの森林づくり」優良市町村等  
佐々木 毅 国土緑化推進機構理事長より、  
財団法人 阿蘇グリーンストックに代表授与



愛媛県緑化等功労者  
加戸 守行 愛媛県知事より、  
愛媛県西予市の増田 清さんに代表授与





## みどりの贈呈

全国から選ばれた緑の少年団の代表者に、アカマツ、クヌギ、ヤブツバキ、伊予姫、スギが石破茂農林水産大臣から贈呈されました。



アカマツとクヌギの苗木を秋田県竜森小学校緑の少年団へ贈呈

東温市立上林小学校上林ささゆり緑の少年隊によって育てられたアカマツとクヌギ。マツは愛媛県の県木で愛媛県で選抜した松くい虫抵抗性のアカマツ、クヌギは県の特産品である椎茸の原木栽培に欠かせない。



ヤブツバキと伊予姫の苗木を山形県新庄市みどりの少年団へ贈呈

松山市立坂本小学校坂本緑の少年団によって育てられたヤブツバキと伊予姫。ツバキは松山市内の山や神社の境内に古くから植えられ、親しまれる松山市の花。伊予姫は松山市育成の新品種ツバキで市民からの公募で命名された。



スギの苗木を富山県利賀花とみどりの少年団へ贈呈

愛媛県立上浮穴高等学校森林環境科によって昭和天皇・香淳皇后お手植えのスギの木から採取した穂木から育成された。



## 緑の少年団活動発表

愛媛県の緑の少年団を代表して東温市立西谷小学校  
西谷緑の少年隊が式典で活動発表を行いました。



活動発表大会では、みんなの励ましの言葉がうれしかったので、その期待に応えようと本番は大きな声で伝えるように発表した。自分の出せる精いっぱい  
の伝え方ができてよかった。翌日はよいよ全員の発表。会場のすごさによい  
きん張感が増した。でも、みんなに伝わるようにと意識して発表した。みんな  
に西谷の活動内容や活動の楽しさを分かってもらえたと思う。皇太子様にも  
お会いできて、「私たち、すごい。」と思った。一生に一回の貴重な体験になっ  
た。すごいことだらけのいい2日間だった。

「笑顔と気合いで！」という言葉を出してがんばりました。皇太子様と秋川  
さんも来ていて、すごくきん張しました。でも、自信をもって出ました。うまく発表でき  
て、ものすごくうれしかったです。これから  
も緑の少年隊、がんばっていきます。

25日は、「まちがえないようにがんばれ！」  
と思いつながら2人の発表を聞きました。  
夜は、ドキドキワクワクでなかなか眠れ  
ませんでした。皇太子様にお会いする  
ときは、発表とおなじくらいきん張し  
ました。森と海がつながっていること  
もちゃんと伝えられたと思います。全  
国の人に森と海のことを考えてもらえ  
るといいです。

発表は、ゆっくり言って、伝えたいこ  
とをきちんと全国の人に伝えられた  
と思います。「歩きだそう」も楽し  
そうに歌いました。森と海がつなが  
っていることもしっかりと伝えられ  
たと思います。全国の人に森と海  
のことを考えてもらえるといいです。

25日の活動発表大会で、2人で発表  
しているのを聞いて、自分もがんば  
ろうと思いました。翌日は自分たち  
の発表です。練習したことを思い出  
して発表しました。

とてもきん張しました。皇太子殿下  
にもお会いしました。一生の思い出  
になりました。

活動発表大会に出ている、秋田、  
山形、富山、鹿児島の人たちも自  
然のためにいろいろがんばっていま  
した。26日、「全国育樹祭」。会場  
に行くと、少し気が引きしまりま  
した。かなりきん張したけど、発表  
も歌も成功しました。これからも  
緑の少年隊活動、がんばりたいです。

「自分たちの発表はまだかな。」と  
きん張しながらアトラクションを見  
ていました。でも、自分が発表する  
ときは、きん張せずにはききとでき  
ました。終わったときは、すごく  
気持ちがよかったです。

自分たちの出番がきて、すごくきん  
張しました。まちがえたらどうし  
ょうと思いつながらドキドキし  
ながら発表しました。終

わると、皇太子様がとってもほめて  
くださいました。とてもうれし  
かったです。

リハーサル後はホテルのご飯が  
まっていたので、がんばりました。  
いろんなものがあって、とても  
おいしかったです。いっぱい食  
べました。本番はとてもきん張  
したけど、うまくいってよかったです。

リハーサルはつかれたけど、ごう  
かな夕食を食べて、元気になり  
ました。発表では、大きな声で  
歌を歌って、5・6年生をサポ  
ートしました。

夕食がとてもおいしかったです。  
おふろからねるまで時間が短  
くて大変だったけど、寝るとき  
はちょっと楽しかったです。本  
番はみんなと息を合わせていま  
した。すごい体験ができたので、  
よかったです。

<緑の少年団活動発表内容>



こんにちは。愛媛県東温市立西谷小学校緑の少年隊です。



わたしたちの学校には森のさかな「モーリー」がいます。なぜ、森なのにさかななのでしょう。答えは、森と海はつながっているからです。



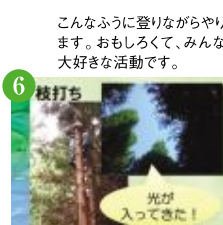
今日は、わたしたちが先輩から受け継いでいる緑の少年隊活動の中から、森と海のつながりについて学習したことをお話しします。



森の活動では、枝打ち、間伐、下刈り、植林を行っています。



枝打ちは、ふしのないよい木を育てるために大切な作業です。枝を残さないように注意深く切り落とします。枝を1ミリ残すと、皮が残った枝をおおのに1年かかるそうです。



枝打ちした森は、日光がたくさん入ってくるので、植物や小さな生き物がよく育ちます。



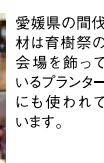
次に、間伐です。間伐は、混み合っている木を切って、残りの木が大きく育つようにする作業です。この枝打ちと間伐により、山の土が流れ出るのを防いだり、森の保水力を高めます。



私たちは、この間伐材を木材市場に持って行きましたが、20年生の重たいヒノキが、なんと40円でした。値段が安くて、びっくりしました。



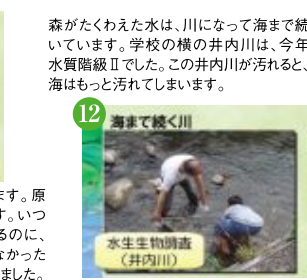
ぼくたちが組み立てるとき、ヒノキのいい香りが体育館中にたどよんで、気持ちよくなりました。森は、人の気持ちをよくなる力もあるのだと思いました。



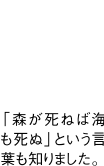
学校林が水源になっている棚田で、米作りも行っています。



その棚田の水がかれた年があります。原因は冬に雪が少なかったからだそうです。いつもは、雪解け水を森がためてくれているのに、雪が少なかったから水をたくわえられなかったのです。森の保水力はすごいなと思いました。



森と海はつながっている、ということ、「森のさかな」の学習で勉強しました。



「森が死ねば海も死ぬ」という言葉も知りました。



森と海が力を合わせないと今の豊かな自然は残せません。だから、海の近くの愛南町立東海小学校や、川近くの大洲農業高校ともいっしょに学習しました。「環境サミット」です。



おどしは、わたしたちが東海小学校に行っていた海の勉強をしました。

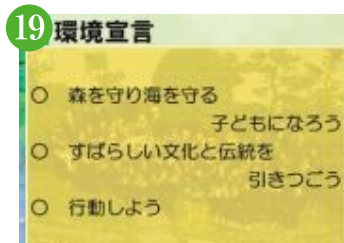


去年は、西谷小学校に来てもらって、森の活動をしました。

東海小の友達も地域の方と協力して海を豊かにしよう取り組んでいました。わたしたちも東海小の友達に学びながら、森を守る活動を続けていきます。



そんな気持ちをこめて、「歩きだそう」という歌を作りました。歌「歩きだそう」1分30秒 さいてくさい。



わたしたちは、約束します。



これからも全国の緑の少年団の仲間と力を合わせて森も人も元気になるような活動を進めていきます。